

ご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の派遣方につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

令和2年度研修

【3日間に短縮】

建築工事のポイント

主催 一般財団法人 全国建設研修センター
後援 国土交通省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

建築物の老朽化対策、リニューアル化、耐震化に取り組む中、品質の高い建築物を建てるためには、多種多様なプロセスから最善策を見定め確実に施工する必要があります。

本研修は、建築工事に従事する技術者が身につけておかなければならない計画、設計、施工等の基本的事項に加え、施工管理、基礎工事、コンクリート工事、構造、設備、工事監理等の技術的要点を学び、建築工事に必要な知識と技術の修得を目的としています。

また、全国から集まった参加者の相互交流、情報交換の貴重な機会として好評を得ています。皆様のご参加をお待ちしております。

【受講された方々の声】

- ・ 初歩的なポイントから学ぶことができ、テキストも図表や写真が多くイメージしやすかった。
- ・ 実際の現場をまだ見たことがないため、様々な事例を交えた説明はとてもわかりやすかった。
- ・ 近年は改修が業務のメインであり、参考になるものが多く有意義だった。

【研修期間】 令和2年10月28日(水)～10月30日(金) 3日間

【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042-324-5315 FAX 042-322-5296 <http://www.jctc.jp/>

当センターホームページよりインターネットで研修の申し込みができます。

受講経費の助成制度がある道県(政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります。)

北海道・青森・岩手・栃木・群馬・神奈川・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・熊本・大分・宮崎の20道県。 詳細は、各道県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

令和2年度研修「建築工事のポイント」実施要領

- 1. 目的** 建築工事における施工管理、基礎工事、コンクリート工事、構造、設備、工事監理について、設計・施工の基本的な要点を学ぶ。
- 2. 対象者** 国、地方公共団体、独立行政法人及び民間企業等において建築関係の業務に携わる者。
- 3. 募集人数** 20名
- 4. 研修期間** 令和2年10月28日（水）～10月30日（金） 3日間
※全寮制を取り止め、通学制とします。
※当分の間、研修期間中に体温の測定をします。その際37.5℃以上の発熱が確認された場合は、当該研修の受講をお断りさせていただきますのでご了承ください。
※マスク持参のお願い
各自マスクを持参していただきますようお願いいたします。
- 5. 集合日時** 10月28日（水）8時30分～9時までに受付を行ってください。
- 6. 教科目、講師及び研修場所(次頁以降参照)**

7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター研修局 研修担当：峯尾、大内
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
※申込はインターネット、郵便、FAXいずれも受け付けています。
ホームページアドレス <http://www.jetc.jp/>
TEL 042-324-5315 FAX 042-322-5296

8. 研修会費及び納入先

(1) 研修会費 70,000円（1人当たり、消費税含）

(2) 研修会費納入先

三菱UFJ銀行 新宿支店 普通預金No.0000316
（ザイ） ゼンコクケンセツケンシュウセンター
一般財団法人 全国建設研修センター
リシチョウ イトウ アツシ
理事長 伊藤 淳

今年度については、新型コロナウイルスへの対応策として、受講終了後一箇月以内にお振込みください。

※1 振込手数料は、ご負担ください。

※2 お振込みの際は「振込依頼人名」等の頭に、受講通知書等に記載されている「申込番号」を入力してください。

※3 当日持参も可能です。

9. 申込締切日 令和2年10月14日（水）

10. その他

- (1) ご持参いただくもの(筆記用具、電卓、共济組合員証又は健康保険証、雨具等)
- (2) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- (3) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

お知らせ

食事については、平日の昼食時のみ、お弁当（税込500円）の販売を行います。
支払いは、直接販売員へお願いします。

令和2年度研修「建築工事のポイント」時間割

月日	時間	教科目	講義内容	講師
10 / 28 (水)	8:30～ 9:00	受付		
	9:00～ 9:30	開講の挨拶・オリエンテーション		
	9:30～12:00 (2.5h)	施工管理	施工計画 工程管理 品質管理 安全管理 原価管理	戸田建設株式会社 建築工事統轄部 エデュケーション推進室 室長 柳沼 俊一
	13:00～14:30 (1.5h)	コンクリート工事	コンクリートの性質、調合計画、 製造管理、打設、養生、品質管理	株式会社 大林組 技術本部 未来技術創造部 課長 淵田 安浩
	14:40～17:00 (2.5h)	工事監理	施工図の見方、検査、演習説明	株式会社 松田平田設計 理事 内藤 藤雄
10 / 29 (木)	9:00～11:00 (2h)	基礎・地下工事	建物を支える杭・地盤改良などの 地業、地下躯体工事、山留工事の 基礎工事と地下工事	戸田建設株式会社 建築工事技術部技術2課 課長代理 田中 高広
	11:10～12:40 (1.5h)	建築改修事例	改修までの建物調査、診断、 設計・施工、事例紹介	戸田建設株式会社 建築工事技術部技術1課 課長 中村 保則
	13:30～17:00 (3.5h)	建築構造	鉄筋コンクリート工事、型枠工事 の概要、設計施工のポイント 鉄骨造の鉄骨製作図、工場製作、 鋼材、現場施工の流れ溶接やボル ト接合などの接合技術、現場建方 計画と施工管理	株式会社 日建設計 エンジニアリング部門 構造設計グループ シニアダイレクター 小板橋 裕一
10 / 30 (金)	9:00～12:00 (3h)	設備施工	設備全般の施工計画、工程管理、 品質管理、施工図、機器仕様書の チェック、施工の注意点、納まり 絡む部位の取り合い、建築担当者 との調整、協力業者との調整	鹿島建設株式会社 建築管理本部 建築設備部長 篠儀 大典
	13:00～14:20 (1.5h)	BIM	事例を基にBIMについての考え方	株式会社 大林組 技術本部 技術研究所 生産技術研究部 首席技師 金子 智弥
	14:30～16:00 (1.5h)	演習	個人演習、解答、質疑応答	株式会社 松田平田設計 理事 内藤 藤雄
	16:00～16:10	閉講式		

※教科目及び講師については変更することがあります。

◎ 講義に関して質問がある方は事前にお送りください。講義中に説明の予定です。

令和2年度研修 建築工事のポイント 申込書

一般財団法人 全国建設研修センター

L125

ふりがな				年齢・性別
氏名				<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
最終学歴	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 短大 <input type="checkbox"/> 高専	<input type="checkbox"/> 専門学校 科卒業/修了
当研修に関する経験年数	年	ヶ月	役職名	<input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 技術
勤務先	(勤務先名)			
	部 課 TEL			
	E-mail @			
勤務先種別	<input type="checkbox"/> 国、地方公共団体 <input type="checkbox"/> 建設業者	<input type="checkbox"/> 独立行政法人等 <input type="checkbox"/> コンサルタント	<input type="checkbox"/> 技術センター、財団、社団 <input type="checkbox"/> その他	
勤務先所在地	〒 -			
研修会費納入方法	<input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 持参			

※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報、研修を円滑に実施するためのものです。
 申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。

<建築工事のポイント研修>

受講者派遣機関名

〒 - TEL

所在地

派遣事務担当者
所属・氏名

----- キ リ ト リ セ ン -----

令和2年度に実施する研修の実施計画についてはホームページでご確認ください。

ホームページアドレス <http://www.jctc.jp/>

新型コロナウイルス感染症の感染防止のための対応方針

- (1) 当センターの宿泊施設等の状況が、感染のリスクのある濃厚接触のおそれが避けられないため、全寮制を取り止め通学とします。
- (2) 感染リスクのある「人が密集していない」状況にするため、募集人数を減じます。
- (3) 感染リスクのある「換気の悪い密閉空間」にしないため、講義の休憩時間等には必ず換気を行います。
- (4) 感染リスクのある「近距離での会話等」を避けるため、グループ討議及び同発表等は実施しません。
- (5) 感染リスクのある「人が密集している」バスの移動を避けるため、現地研修は実施しません。